

# 令和防災研究所 設立趣意書

平成の時代には、阪神淡路大震災、東日本大震災を初めとし度重なる豪雨の氾濫や火山の噴火などの大きな災害が日本を襲った。

これらに対し日本の社会は、古くからの日本人がそうしてきたように、混乱から速やかに立ち直り、悲しみを抱えながらも着実に対応し復旧・復興を成し遂げてきた。

自然の猛威に対して人類はあまりにも弱く、人知は次に来るべき災害を予知しえないが、それでもなお私たちは地球の自然現象を解明し、自然災害の発生メカニズムを探求し、対策を講ずる努力を傾注してきた。

実際わが国の歴史は、河川や海岸に堤防や水門を整備し、山地に砂防を施し建築物の強度を高め火山の観測を強化するなどの対策により、被害を軽減してきた実績をもっている。

TSUNAMI や SABOU がそのまま国際語となっていることで分かるように災害大国である日本は BOUSAI において世界をリードしなければならない。

防災士制度は、こうした防災に取り組む国民の努力の中から平成の時代に誕生した。全国津々浦々において防災のリーダーが共通の防災知識・技術を備え、市民の協働による防災活動を充実することによって、日本社会の防災力を確実に向上させようとするこの仕組みは国民に支持され、発展してきた。

このたびその一翼を担ってきた有志が語り集い、令和の世を迎えるにあたって、それぞれが属する組織を横断する防災研究所を設立し、防災に関する研究を発展させ防災士制度の更なる発展に寄与すると共に、国民の防災知識を啓発していくため、令和防災研究所を設立することとした。

2019年（令和元年）5月1日

## 令和防災研究所 設立発起人

発起人代表	青山	侑	明治大学名誉教授
発起人	加藤	孝明	東京大学教授
発起人	玉田	太郎	防災士研修センター代表取締役
発起人	中林	啓修	人と防災未来センター主任研究員
発起人	成澤	廣修	東京都文京区長
発起人	橋本	茂	日本防災士機構事務総長
発起人	早坂	義弘	東京都議会議員
発起人	廣井	悠	東京大学准教授